

由來」の各講演筆記と同記念會の記事を録するものなり其前年五月十日京都に於ても同様記念會を催し關係古本の展覽と講演とを行ひ展覧書目録を頒ちたりしが東京は一年後の開催なる丈同會に出陳を果たさざりし希觀書數種を加へたり本帖に收むる寫眞はよく各時代の代表的古本を網羅し解説亦概ね簡明にして要を得たるものを見る吾人は中心より最も意欲ある此好記念帖を得たるを喜ぶと同時に其發行部數の僅少にして學海の渴望を滿たすに足らざらんことを憾とするものなり (東京日本書紀撰進千二百年記念會發行、非賣品)(三浦)

●支那唐代の服飾

文學士 原田淑人 著

本書は去三月公刊の東京帝國大學文學部紀要第四冊に充當せられたる長編の研究論著にして著者が同學部に支那文化史を講ずる傍ら特に唐代文化史に就きて研究したる結果の中、服飾に關する部分のみの梗概を記述したるものなり此の種の研究の甚だ難事たる所以のものは獨り文獻の不足せる場合に於て然るのみならず文獻豊富なりと雖も支那記録の常套として多くは記述に盡し得ざる微妙の點を一目瞭然たらしむるに必要缺くべからざる圖畫を缺きたれば、其の大意は斐然し得ても眞に其の形象を捕捉し學術的價值ある決定的結果を獲得し難きは少しく識ある者の等しく感ずる所なり著者即ち其の根本資料を現存の圖畫彫刻と發掘遺品に求め一精査して以て記録と相參照し今日の學界にて爲し得るだけ正確なる結果を求めたるなり全篇五章に分れ第一章緒説に於ては我王

朝の服飾を知らむには先づ唐朝のそれを討究することの必要より之が研究の資料存在の大勢を叙し第二章唐代の織染にて支那織物の發達、唐代織物の種類、唐代染色の種類、唐代の刻繡、唐代の文様を説き第三章武德令の服飾並に爾後の變遷は武德令に見ゆる天子、皇太子、群臣、皇后、皇太子妃、命婦等の服飾と貞觀以後の服制を述し、第四章唐代一般服飾にては男子女子の服飾を謂ひ第五章餘説として唐代奢侈の有様より開元二年の禁令、楊貴妃一族及び元載の奢侈、大曆六年の禁令、文宗改革の失敗を述べたり挿圖十三個何れも皆精巧にして殊に三色版立女俑は眞に逼るの趣あり圖版十六個亦甚だ鮮明、索引の用意ある本文と相待ちて洵に稀に見るの好論著なり特に吾人は再三讀誦して尙ほ卷を覆ふに堪はざる愉快と共鳴を感ぜり敢て江湖に愛讀あらむことを勸む (丸善株式會社發賣 定價未詳)

●窓齋專瓦錄

本書は吳大澂の古瓦拓本を石版に附したるものにして瓦當十個瓦額一個甄七個を收む、何れも文字瑰璋、制作機茂にして而も未だ他の著錄に上らざりしもの、異文は以て字書の缺を補ふに足り繪畫文様は以て支那上代美術の一端を察すべく其の時代より謂へば戰國末期より前漢頭初に及べり (西泠印社發行)

●清代學術概論

梁 啓 超 著

清末の今文學運動が思想界に大なる影響を與へし際其運動に當り

し梁啓超として一書無からざるべからずと謂ふ胡適の勸誘と蔣方震の著歐洲文藝復興時代史に刺戟せられて著述せしものにして清代思潮の大勢より説き起し清朝學の來由、黎明運動者としての顧炎武、科學者としての梅文鼎、戴震、惠棟の學風、段玉裁、王念孫王引之父子の學派、經學の隆盛、王夫之、黃宗義、萬斯同以下錢大昕、何秋濤等の史學、阮元謝啓昆等の地志、其の他地理學金石學清學分裂の導火線の經學今古文の爭に在る事、今文學運動の中心者としての康有爲等を叙し、支那人の學問的本能に富みよく清代學術の隆盛を來たしたることを論述す（上海商務印書館發行）

Les Grottes de Touen Houang. P. Pelliot

三冊（敦煌窟發見物寫真集）

本書は佛の Pelliot 氏が今回の大戦に陣没したる Robert Guigniot 氏と共に佛國文部省、佛國中亞探險協會、佛國亞細亞學會、Academie des Inscriptions et Pells-Letters 等の後援の下に千九百六年より千九百九年に亘る四個年に試みたる敦煌窟調査の結果獲得する所の蒐集品の複製並に洞窟の寫真集にしてこれ主として該旅行の同行者なる Charles Nouette 氏の實寫せる現地寫真を本とし之に加ふるに將來品の精巧なる複製を以てせしものなり其の大型紙四ツ切の大きさのものは圖畫記錄等の存する發見資料の複製を印刷し八ツ切の大きさのものは古鈔本、古記録断片の複製其他を以てす其の資料たるや Sogdiana, China 並に善惡因果經、サ

ンスクリット、チベット語の佛教問答等中亞に關する空前の珍らしきものを包括し言語學的にも歴史學的にも地理學的にも宗教學的にも將た哲學的にも貴重なるものたるや論を煩たす就中故 Gauthier 氏の苦心の結晶なる Sogdiana 語文法並に其の語原的研究は最も傾聴に値すべく二百餘面の圖版は實に東洋史研究者の寶典たるに止らず好學の士の看過すべからざるものとす（以上那波）

彙報

●帝國學士院授賞式

帝國學士院にては去五月二十二日東京美術學校講堂に於て恩賜賞、帝國學士院賞及び桂公府記念賞の授賞式を行ひたるが其中第一部に於て此光榮に浴せし受賞者左の如し
恩賜賞

日本佛教史の研究（著書）

文學博士 辻 善之助

●京都帝國大學第十二回夏期講演會

京都帝國大學に於て學術普及の爲め例年催し來りし夏期講演會は來八月一日より第十二回講演會を開催して一般有志の聽講を許